

病防第45号
平成27年6月11日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

ナシ黒星病の防除対策（技術情報第3号）について（送付）

今後、黒星病の多発が懸念されますので、防除指導に利用していただくようお知らせします。

記

本年の発生は平年比やや多であり、今後も発生が拡大しやすい条件となります。

1 調査結果

- 1) 5月の巡回調査では、発病葉率2.7%（平年0.8%、前年0.2%）の平年比やや多の発生であった。（図1）
- 2) 福岡管区気象台が6月11日に発表した、九州北部地方1か月予報によると、降水量はほぼ平年並で、曇りや雨の日が多い予想である。
- 3) 病虫害防除員からの報告によると、5月の発生は平年比多～並の発生であった。

2 防除対策

- 1) 発病葉や果実は伝染源になるので、見つけ次第取り除き、ほ場外へ持ち出して適切に処分しましょう。
- 2) スピードスプレーヤーで防除する場合は、薬液が十分付着するように、全列走行する。また、薬剤がかかりにくい周辺部などは手で散布する
- 3) 本病は曇雨天が続くと蔓延しやすいので、雨が予想される場合は、計画的に薬剤散布しましょう。FRACコードが同じ（作用機構が同じ）農薬を連続して使用することは避けましょう（表1）。
- 4) 農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病虫害研究室 予察指導係（病虫害防除所）
担当：荒木、加賀山 TEL：096-248-6490

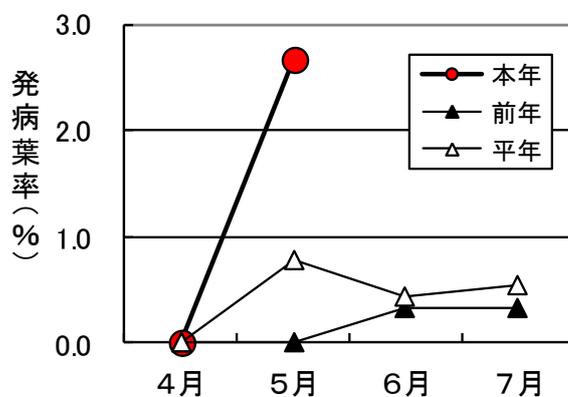


図1 黒星病発病葉率の推移

表1 ナシ黒星病に対する主な防除薬剤（梅雨期）

使用時期	系統名・農薬名	一般名	FRACコード
6月中旬～ 7月中旬 (梅雨期)	メトキシアクリレート系		
	アミスター10フロアブル	アゾキシストロビン水和剤	11
	ストロビードライフロアブル	クレソキシムメチル水和剤	11
	ナリアWDG	ピラクロストロビン・ボスカリド水和剤	11, 7
	ステロール生合成阻害剤		
	アンビルフロアブル	ヘキサコナゾール水和剤	3
	スコア顆粒水和剤	ジフェノコナゾール水和剤	3
	その他		
	オキシラン水和剤	キャプタン・有機銅水和剤	M4, M1
	ユニックス顆粒水和剤 4 7	シプロジニル水和剤	9

FRACコード：世界のほぼ全て殺菌剤を作用機構別に分類したコード表です。
この表では、薬剤を交差耐性のあるグループに分類し、系統ごとに固有のFRACコード（番号、記号）を指定しています。